

平成28年度 第7回

# 子ども議会

～千葉市の未来へつなぐ議会～



公募による市内小学校5、6年生の子ども議会議員が「みんなが住み続けたい千葉市にするために」をテーマに、7グループに分かれて提案や質問を行いました。

学習会で学んだり、自分たちで調べたりしたことをもとに、ファシリテータ役の中学生に支援を受けながら、提案や質問を検討しました。

当日は自分たちの提案や質問を様々な資料を活用し、発表の方法を工夫して伝えることができました。

## 1 開催の目的

○千葉市の将来を担う子どもたちが、千葉市の現状と課題について話し合い、「市民一人一人がいきいきと幸せに暮らせるまちづくり」に向けた具体的な提案や質問を行う中で、千葉市民としての意識を高める。

○子どもの目線に立った提案や意見を市政に生かす。

**2 開催日時** 平成28年7月26日(火) 9:00~12:00

**3 開催場所** 千葉市議会本会議場

## 4 出席者

(1) 子ども議会議員50人(公募による市内小学校5、6年生)

ファシリテータ役市内中学生14人

(2) 市政担当者

熊谷市長、鈴木副市長、神谷副市長

山田こども未来局長、

志村教育長、森教育次長

(3) 市議会議員

向後議長、白鳥副議長、

植草教育未来委員長、森山教育未来副委員長



## 5 内容

### (1) 学習会～開催に向けて～

5回の学習会を実施し、市長や市政を担当する職員から千葉市の現状や取組、課題についての話を聞くとともに、自分たちで実施したアンケート調査や現地調査などの結果をもとに、提案や質問内容をまとめました。



＜熊谷市長による講話

「千葉市の現在と未来について考えてみよう」＞



＜テーマごとにグループで協議＞



＜行政担当者との意見交換＞

### (2) 子ども議会当日

子ども議会議員はグループごとに、自分たちの思いが伝わるように工夫しながら、提案や質問をしました。



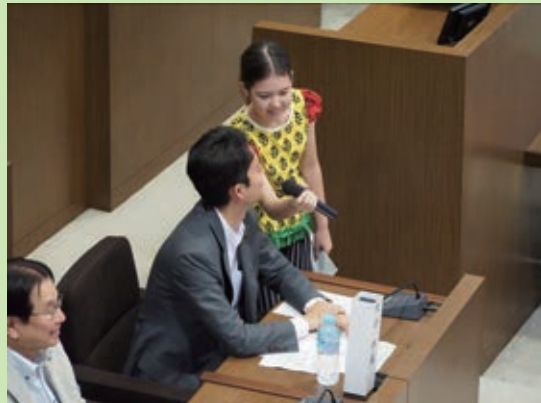
＜「災害や防犯に備えるためには」グループによるLEDの明るさを確認するための実演＞



＜「千葉市の伝統や文化に親しむ取組」グループによるかそりーぬの形をしたパンフレットの提案＞



<各グループの提案を真剣に聞く答弁者のみなさん>



<子ども議会議員からのインタビューに答える熊谷市長>



<ファシリテータによる議事運営>



<グループの提案を支援するファシリテータ>

### (3) 提案・質問の内容

#### ①「交通事故ゼロを目指す取組」グループ

- ・千葉市にはまだまだ危ない箇所があるので、自転車レーンの整備をもっと進めることはできますか。また、大人も学ぶことができる「親子自転車教室」を企画するのはどうですか。
- ・スクールゾーンの中には、車の進入禁止が8：00～9：00という標識があります。私たちが登校する時間帯に合わせて7：00～8：00に変更することはできませんか。



- 自転車の走行環境整備は、大変重要だと思います。千葉市では全国から注目されている「ちばチャリ・すいすいプラン」を計画し、今後も整備を進めていきます。「親子自転車教室」ですが、区ごとに自転車の講習会を実施していて、この講習会を受けると優先的に駐輪場を申し込めるメリットがあります。自転車の安全利用の意識を高めるためにも、家族やお住まいの自治会等で話し合い、地域で講習会開催の要望をいただきたいと思います。
- 通学路の安全確保ができるよう、学校・警察・地域・保護者などの関係者で、学校周辺の危険な箇所をチェックし改善に向けて取り組んでいます。また、「8：00～9：00」の標識が実態に合っているのか、改めて検討するように警察に働きかけたいと思います。

## ②「豊かな海辺を活かした取組」グループ

- ・「いなげの浜クリーン大作戦」で、より多くの市民に参加してもらいたいのので市の施設の利用割引券を配る特典を取り入れるのはどうですか。
- ・地元の小学生や家族連れが、安心して楽しめる海水浴場の整備を希望します。
- ・親子で釣りをしたり、生物と触れ合ったりできる環境の整備をお願いします。



- 小学生がいなげの浜の清掃にかかわることは、豊かな海辺を維持・発展させるための大きな力になるので、ポスター等でPRしてください。施設の利用割引券については検討していきます。
- 提案いただいた、浮き輪やボートのレンタル用品の充実やイベント開催については、実現に向けて検討します。安全についても引き続き強化していきたいと思います。
- 海釣りや自然に触れて遊べる海辺としていくイメージを千葉市は示しています。これらを実現していくために、これからもご意見をいただきたいと思います。

## ③「災害や防犯に備えるためには」グループ

- ・子ども達にもわかりやすい防犯と防災のマップを作成してほしいです。また、街灯の電球をLEDに変えたり、間隔を30mから20mに変えたりすることはできますか。
- ・ゴミのポイ捨てをなくすために、公共施設でゴミ袋を配布できる「ミブ計画」の導入や、ゴミを集めるとポイントがもらえるシステムにするのはどうですか。



- 各学校で安全マップを作成していますが、さらにより良くするために地域と学校が一緒になって議論し千葉市に提案してほしいと思います。街灯については、全国の中でも先駆けてLEDへの切り替えを行っています。間隔を縮める提案については、今後検討していきたいと考えています。
- 公共施設へのミブ（ごみ袋）の配布や、ごみゼロポイントカードを作成しポイントを貯めることでボランティア活動等の参加者にメリットが発生し、町を美しくする意識が高まるとともに、犯罪抑止も期待できる大変よい提案なので今後の参考としたいです。

## ④「2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた私たちの取組」グループ

- ・オリパラ会場付近の多言語の道路表示や案内図設置について、さらなる充実をお願いします。
- ・千葉市会場で実施される7つの競技について、子ども達にもわかるようにポスターなどでPRしていきたいと思います。
- ・オリパラのアスリートによる学校訪問の際に、千葉市の特産品のニンジンを使った「おもてなし」はいかがですか。



- 「千葉おもてなしSHOPガイド」をもっと認知してもらうために、登録のお店を増やしたり、PRに取り組んだりしていきたいと思います。また、幕張メッセ周辺において、より多くの言語に対応した標記を表示して、外国人にわかりやすい統一的な案内をしていくように取り組んでいきます。
- オリパラの教育を学校でどのように取り組んでいくか今考えていますので、ぜひみなさんも一緒に参加して子どもにもわかりやすいオリパラの普及活動に協力してください。
- 提案にあった「キャロット揚げパン」は大変面白い試みだと思います。食べ物の点から、どういうPRができるか一緒に考えていきましょう。

## ⑤「多くの人が楽しめるイベントを充実させるためには」グループ

- ・千葉市動物公園で行われている「ズーフESTA」を盛り上げるために、車椅子体験と子どもフリーマーケットを取り入れて、売り上げの一部を車椅子の購入に役立てたいと思います。
- ・千葉市フェアで「小学生千葉市地産地消レシピコンテスト」を開催したり、千葉市産の野菜のキャラクターをつくりたりしてイベントを盛り上げるのはどうですか。



○普段車椅子を使うことがない人たちに、乗り心地や使い勝手を知ってもらう素晴らしい機会だと思います。また、フリーマーケットを開いて売り上げを必要な方に寄付していくのはとてもいい提案だと思いますので、実施に向けてみなさんの協力をお願いします。

○レシピコンテストについては、市内の農産物を知っていただくこととなりますので、学校と協力して千葉市フェアに取り入れるなどイベントを盛り上げていきます。また、千葉市産のマークに親しみやすい名前を付けることは、みなさんに知ってもらう良い機会になるのではないかと考えます。

## ⑥「千葉市の伝統や文化に親しむ取組」グループ

- ・加曽利貝塚にもっと来場者が増えるようにするために、かそりーぬの形をしたパンフレットをつくってみてはいかがでしょうか。
- ・小学生でも見てわかりやすい加曽利貝塚のマップを作成してはどうですか。
- ・自然の状態を残しながら、サイクリング道路を整備したり、説明表示板を子ども目線にしたりすることで、みんなが親しめる加曽利貝塚になるのではないのでしょうか。



○加曽利貝塚を紹介するパンフレット・リーフレットに、PR大使の「かそりーぬ」を取り入れていくことを検討していきたいと思います。同時に大使の任期の延長を、みなさんが熊谷市長にお願いしてほしいと思います。

○現在配布している地図は古くなってきています。子ども達にもわかりやすい工夫を凝らしたマップの提案があったので、道順や見所がわかりやすいマップを作っていきたいと考えます。

○加曽利貝塚は世界に誇る貴重な財産であり、縄文時代をイメージすることができる状態で守り伝えていくことを優先していくべきですが、ご提案を含め、今後来た人が楽しむことができる場所としていくことも考えていきます。

## ⑦「みんなが楽しめる公園にするには」グループ

- ・みんなが楽しく過ごせる公園の実現を目指して、子ども目線で過ごし方やルールを考えた「子どもによる公園利用の心得10カ条」を提案します。
- ・公園を作る際に、地域の大人の意見だけでなく子どもの意見や思いを取り入れられるような仕組みを作ってみてはどうですか。



- 公園ごとに使っている人や地域ごとの考え方が違うので、それぞれの地域ごとに柔軟に考えていきたいと思います。まず、今回提案のあった「子どもによる公園利用の心得10カ条」をみなさんの身近な公園で試してみるため、地域の方と話し合うことを提案します。
- できればみなさんが考えるように、安全に遊ぶようにするために区域を分けた設計がよいのですが、そのために比較的広い敷地が必要であることから、それぞれの公園の条件を考えながら公園づくりを行っていききたいと思います。その際にはご意見をいただきたいと思います。

## 6 熊谷市長の講評

それぞれのグループごとにみなさんで話し合い、いろいろなかたちで工夫をして、みなさんの考えを私たちに伝えてくれました。大事なことは、これで終わりではなく、私たち自身もここで答えたことについて、それぞれの部署を通して実現に向けて努力をしたいと思いますし、その実現の過程の中で、提案をしたみなさんもその実現に向けて役割を果たしてほしいと思います。

考え方の違う人たちと話し合った上で、みなさんが納得できるものは何なのかということを考え、実現していくことが議会であり、民主制です。そういう意味では、みなさんの中にはグループで発表する上で、少しもどかしい思いをした人もいるかもしれませんが、みなさんで話し合っただけで一つの結論を出すということの難しさやもどかしさというものを知った上で、この社会というものを見てほしいと思います。

子ども議会を支えてくれたいろいろな人たちに改めて感謝をし、実現に向けたスタートをよい形で切れるように、私たちも頑張ることを決意して、みなさんへのお礼のあいさつとしたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

## 7 子ども議会議員の声から

※一部を抜粋しています

何かを提案したり変えたいときには、今の状況を調べたり勉強したりして、どうしたらもっと良くできるのかを伝えることが大事だということを子ども議会で学びました。

地域のボランティアに積極的に参加したり、学校の友だちに子ども議会で出た提案について教えてあげたりして、もっと考えを深めていきたいと思いました。

学習会で行政の方にお話をうかがいました。身近なモノレールや動物公園で、行政の方々が私たちのために様々なことをしていることを知ることができ、とても良い経験となりました。

ファシリテータとして参加し、小学生のみなさんのアイデアに驚かされました。小学生の児童会と協力して何か取り組むことができないかと考えさせられました。

## 8 提案の実現！！



### ⑤「多くの人を楽しめるイベントを充実させるためには」グループ

11月5日に行われた千葉市動物公園の「ゾーフエスタ」で、車椅子レクダンス普及会のみなさんと共演することができました。

グループの提案が、実現に向けた足がかりとなりました。

編集・発行：千葉市教育委員会学校教育部指導課